

公益社団法人 吹田青年会議所

Junior Chamber International **Suita**



Empathy

～共感を生むまちづくり～





柳川 潔敬 公益社団法人 吹田青年会議所 第52代 理事長

公益社団法人吹田青年会議所は、吹田のまちをより良くするために活動しています。月に一度の定例会では、様々な講師講演により、専門知識を学び自己成長につなげることができます。市民向けの事業では、多様な価値観を認め合う等の子どもの資質向上を目指す事業や、多くの市民にまちづくりに関心を持っていただくための事業があり、会員が試行錯誤しながら作り上げています。本年度の当会のスローガンは、「Empathy～共感を生むまちづくり～」です。共感を生むためには、魅力的なものを作り上げなければなりません。私たちと一緒に、あなたの個性を活かした魅力溢れるまちを作っていきましょう。

市長対談

柳川第52代理事長(以下、柳川) いつも当会の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

後藤圭二市長(以下、市長) こちらこそありがとうございます。

柳川 改めまして、次年度理事長をさせていただきます柳川と申します。よろしくお願いします。

市長 いつですか。理事長交代のイベントは。

柳川 2021年の1月12日です。

市長 そうですか。

柳川 よろしくお願ひします。

市長 あのスピーチを全部覚えるのですね。

柳川 そうですね。胃が痛いです。

市長 あれはプレッシャーでしょうね。スピーチが長いのですものね。

柳川 大体7～8分あると思います。

市長 セリフがガラスに映るようなものを作ったらどうですか？

柳川 プロンプターみたいなのですね。

市長 それ提案してみたらどうですか？

柳川 いいですね。

市長 IT系が得意な会員もいるでしょう？

柳川 是非使いたいです。

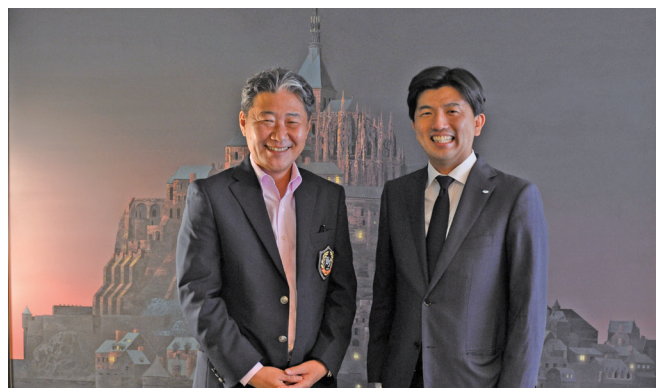
市長 あまりにもかわいそうや。

柳川 次年度は、「Empathy～共感を生むまちづくり～」というスローガンで、共感をテーマにやっていこうと思っています。共感されると自信が持てますし、信頼されると感じて前に向かって進んで行けます。また、共感すると応援したくなり、その行動に関心を持ちます。こういったことから、共感というものは非常に大事だと思っています。来年はそこを重点的にやっていきたいと思っています。

市長 とても大事ですよ。共感という言葉は思いつかなかったけど、例えば、毎年環境部では、駅前でティッシュを配るポイ捨て禁止キャンペーンをやっています。私も一緒に配りますが、ポイ捨てをやめましようと言った紙の入ったティッシュを渡すことで、ポイ捨てを減らすのはなかなか難しいかもしれませんね。

柳川 確かに。そのティッシュをもらったとしても、あまり意識としては残らないですね。

市長 キャンペーンってよくやるでしょ。そのキャンペーン効果、費用対効果や労力対効果っていうものを実は検証する必要があるんですよ。慣例としているからとか、やることが自分や社会に対してのエクスキューズになっているのかもしれない。効果は測れませんが、より効果の高い他の手段もあるのではないかと、思います。そこでポイ捨て禁止キャンペーンの後に、同じベスト



を着て、地域、地元企業、市でゴミを拾うようにしています。つまり、ゴミを拾っている背中を見せる。そうすると、こういった人達がゴミを拾っているのだと思い、ゴミを捨てにくくなるでしょう。

柳川 やはりそういった姿を見ると、意識として残りますよね。

市長 そういった啓発方法も効果があると思います。

柳川 そうですね。

市長 手応えがあれば、それを週1回やりましようとか、ウォーキングしながら拾いましようとか、そういうふうな運動を広げていくことで間違いなくまちは綺麗になっていくと思います。必死になってメガホンで「ゴミは捨てないようにしましよう！」と言うよりも効果がありますよ。結局それが同調なのですよ。背中を見て同調するのですよ。そういう意味では、今仰ったEmpathyっていうのは素晴らしいですね。

柳川 ありがとうございます。

市長 ポイントは前を向かないことです。背中を見せる。押し付けがましいのはみんな嫌だから。同調を得ようと思えば、斜め45度かちょっと横向く、あるいは後ろ向く。あの人の取り組み良いよね。ちょっと興味あるから、こっちから声掛けてみようかなとなるように。それはいつも意識しています。

柳川 そうですね。確かに前からグイグイ来られると、ちょっと拒否反応してしまいますね。あの人カッコいいなあ。自分もあんなことしてみたいと思わせる方が、自発的に動いている分効果は高いですね。我々の会も、会員の拡大というのが非常に難しい問題としてあります。ホームページ等で我々の活動を見て、一緒に活動したいと入ってきてくれる方もいますし、我々が直接会いに行って、入ってくださいとお願いしに行くこともあるのですが、やはり自分から入って来た人の方が積極的に活動に参加していま

すね。

市長 それはそうでしょうね。ところで、令和のJCの在り方とかそういう議論はないのですか？JCが今までずっと続いているっていうのは、こうして毎年理事長が代わっているからだと思います。私が市職員時代に立ち上げに携わった組織では、その最初の約束にトップは毎年交代するっていうのを条件に入れたのですよ。そうしないと、絶対にカリスマが出てきてしまい、後に続く人がいなくなってしまう。ポリシーが続かないなど、毎年変わることの功罪というのがありますけどね。

柳川 そうですね。毎年トップが変わると、事業等でもどうしても単発のものになりがちで、長期的な考え方で事業をするというのは、難しいところがありますね。

市長 そうなのです。でもね、ひとりがずっとやるよりは、集団指導体制の方がいいですよ。カリスマの後を受ける人が本当にいないのです。一方で、毎年代わることの弱みっていうのも、私はずっと感じていました。活動を立ち上げて、広げて、充実させて、そこでピークを迎えるというのに最低3年はかかると思います。社会を変革するような大きな話となると、長期的な計画が必要になってくる。JCにはこの戦力があるのに実にもったいないなと思います。JCと行政は、もっと繋がることできるはず。継続的にここから10年かけてこうまちを変えていきましょう、世の中を変えて行きましょうっていうカウンターパートに是非してもらいたいと思っています。そこは、新理事長として意識しておいていただきたいなと思います。お願いできますでしょうか。

柳川 ありがとうございます。そこが一番JCの難しいところですね。1年任期という制度のメリットもありますし、やはりそういった継続性という部分ではデメリットにもなっているかと思えます。長期に渡る継続事業をするには、最初に立ち上げた人の想いっていうものを繋いでいかないといけないと思います。その想いに、次の理事長の想いも載せてどんどん繋げていければいいのかなと思います。

市長 ベースとしてやることと、その年度のやることっていうのを2階層に分ければいいと思います。今は1階層に感じるのですよ。せっかくここまで来ているのにみたいな。毎年スローガンも変わるし、それぞれ年度のカラーがありますよね。こっちから何かお願いするときでも、この1年で完結することしかお願いしていない。もっと色々あるのですけどね。そこはね、もうちょっと手を組みたいなと思っています。しっかりと組織だけに。

柳川 我々も中期計画を立てて考えていけば、できないことはないと思いますのでよろしくをお願いします。

市長 大体役所でも、その基になる計画は、20年30年で作っていますが、実際ドライブするには、最低3年から5年。それに対して施策は単年度なのです。予算は1年単位なんでね。最初実験的にやって、次に広げて、最終的に制度に変える。年度で言うと3年は絶対かかるのです。だから1年で成果を出せるものっていうと、それこそキャンペーンものになるのですよ。お祭りやりましたっていう。それはそれで大事ですが、そこで終わったらもったいないですよ。

柳川 そうですね。我々も事業をまちづくり運動に繋げていきたいと思っています。我々の理想は、事業を立ち上げ、何年かやって他の団体に移管して、それがずっと続くことです。今までにそういった事業もあります。

市長 だから同調してくれる相手をどんどん広げていく。

柳川 そうですね。市民を巻き込んでいかないと、まちづくり運動は中々広がっていかないので、そこを頑張っていきたいなと思います。

市長 それぞれ特性がありますよね。逆に言うと、行政って動きが遅いでしょ。予算とか色々な手続きがあるのです。年4回定例の議会がありますが、主に来年度予算を決めるのは春の議会です。予算が決まってから公告出して、募集して、一般競争入札して。そうこうしていたら夏を越えるのですよ。さあやろうかっていうときには秋ですよ。そして、翌年度に繰り越すのです。これは、民主主義の制度上の手続きを経た結果なので、行政は仕事が遅いっていうのは大間違いなのです。それをいうと、民主主義でない方がいいって言っているのと一緒になのです。JCはそのタイムラグを補ってもらえる組織です。そこを手を組んだら初めて中長



期的にも短期的にもまちが動くっていう。その魅力はずっと感じています。

柳川 ありがとうございます。頑張ります。

市長 是非是非。そう言う意味でお力をいただきたいのです。

柳川 ありがとうございます。昨日、定例会があったのですが、危機管理室の職員さんに講演していただきました。非常に思いが伝わる講演でした。私も常々、災害に向けた準備をしておかないといけないなと思っているのですが、昨日の講演を聞いて、より一層意識するようになりました。すごくいい講演をしていただきました。

市長 そう仰っていただけるとありがたいです。

柳川 南海トラフや上町断層の地震が、高確率で起こると言われていますし、そういったところも詳しく教えていただきました。

市長 災害は市域境界に関係なく起こるので、自治体間の連携をしっかりとっておかないといけません。周辺に対する責任があるのですよ。

柳川 市同士の連携を強くしていくことも大切ですね。

市長 JCでも是非自治体間での連携していただきたいです。西宮市(N)、尼崎市(A)、豊中市(T)、吹田市(S)の隣合う4市の中核市NATS(ナッツ)でのJCの連携とかできないですか？

柳川 それなのですが、今度の定例会でNATSについてのワークをする予定にしています。色々と吹田市さんにもご協力いただいています。

市長 そうですか。すばらしい、すばらしい。4市は北摂から西宮に至るこの帯状の市街地で、同じような文化を持っていて、同じような悩みを持っています。健康・医療もそうです。府県を超えたもっと大きな枠組の中での健都(北大阪健康医療都市)ですよっていう話です。吹田だけの健都じゃないので。大学もあちらこちらにあるでしょ。吹田にも5つあって。そういう繋がりでいくとJCがばらばらの活動されているというのが実にもったいない。

柳川 今度の定例会でも、西宮と尼崎と豊中のJCに声を掛けてはいるのですが、豊中JCからは返事があったのですが、普段、西宮JCと尼崎JCは交流がないので。

市長 土地は続いているのに、府県境があるでしょ。自治体間で競争している場合じゃないですよって誰かが言わないといけない。行政が一番競争するのですけれども、そこに穴を開けたということで、すごい注目を浴びているのですよ。行政ができるのなら、JCも当然できるよねっていう。これも日本で珍しいと思いますよ。ライバル関係であって、協調関係である。同調するという意味でもね。

柳川 最近のテレビとか見ていると、市を比較する番組が多いですよ。ランキングつけて。

市長 それに驕ったらダメなのですよ。優位な点を持っているのだったら、今度は質を向上させていかないといけないのですよ。今、利便性とかそういうのがあるけど、だからこそ緑を大事にするとか、だからこそ福祉が他より充実しているとか、教育がとか、そっち側に力点を置かないといけないと思います。経済的な指標から社会的な指標に力を入れ出して、本当のまちになると思います。アフターコロナを、皆さんの視点で社会変革を巻き起こすようなアイデアを、一緒に考えてください。

柳川 ありがとうございます。吹田市さんとも連携取らせて頂いて、色々やっていきたいと思っていますので、またご協力の方をよろしくお願いします。

55周年に向けた中長期ビジョン



本質をみつめ、未来を創造する

我々は明るい豊かな社会を実現するために、過去を振り返り、今を見つめ、
「ヒト・モノ・コト」の本質を見極め、未来を先見し、
「修練・奉仕・友情」の三信条を胸に仲間と共に進み続ける。



【吹田を支える 人材の育成】

本質を捉える思考力を育み、まちの未来を支える人材を育成する

【地域力を向上する まちづくり運動】

地域のニーズの本質を見極め、持続可能な事業を立案、展開し、まちづくり運動へと発展させる

【思いやりで繋がる 地域共育の構築】

人が繋がり支え合うことの本質を理解し、人と人が育て合い、繋がり続けられる仕組みを構築する

公益社団法人 吹田青年会議所とは

「修練」「奉仕」「友情」を信条として、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、吹田のまちに住民らや子どもたちの笑顔のために活動をしている団体です。

1970年日本万国博覧会の年に、全国で436番目の青年会議所として、吹田青年会議所は誕生しました。社団法人格を経て、2009年に公益社団法人格の移行認定を受け、2019年に創立50周年を迎えることができました。

20歳から40歳までの青年で構成され、青少年育成事業としてキッズタウン・こどもまつり・わんぱく相撲などの事業を行ったり、姉妹提携している香港の浩洋青年商會との国際交流にも行ってきました。また、月に1度の定例会では、その時々々の社会問題について講師講演や研修プログラムを企画・実施して相互啓発を図り、公共心を養いながら地域との協働により社会の発展に貢献し続けています。

我々は、奉仕活動を通じて仲間との友情を育み、自己の修練を積むことで、学び成長し、吹田のまちの発展に寄与しています。



2017年
8月実施

みんなで創ろう こどもまつり in 吹田

吹田市在住の小学4～6年生が、子どもたちだけでおまつりを創り上げました。2回の準備会議を経て迎えた本番は、近隣住民や保護者の方にお客さんとして参加していただき、大盛況でした。子どもたちが互いに意見し認め合う場を提供することで、子どもたちの多様な価値観を醸成することを目指しました。



2020年
6月実施

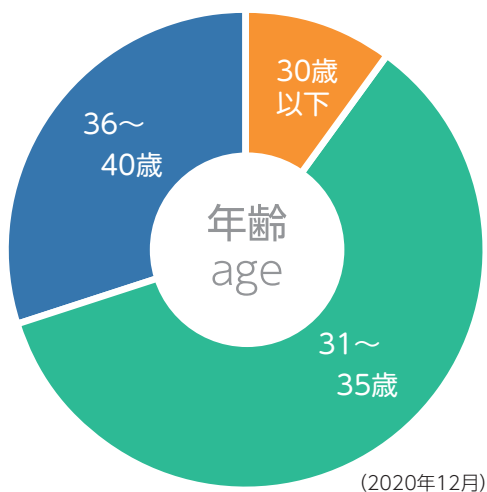
笑顔の花を咲かせよう

2020年度
大阪ブロック協議会
地域活性化部門にて
優秀賞受賞

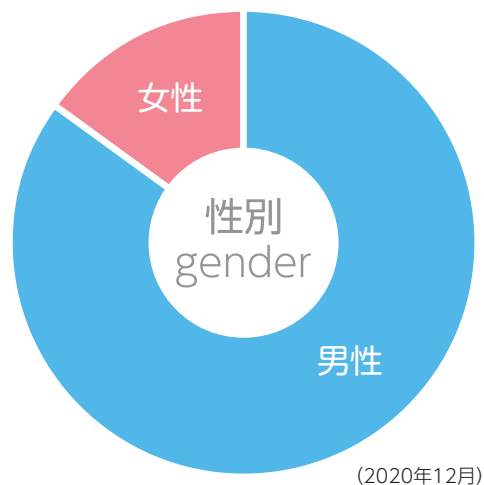
新型コロナウイルス感染症緊急対策事業として、「笑顔の花を咲かせよう」を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、活動が制限された学校生活を過ごしている子どもたちの環境を少しでも改善し、ストレスケアを図るために、教室に笑顔が咲きますようにという思いを込めて、吹田市内の幼稚園や小・中学校にお花を届けました。



● 年齢比



● 男女比



● 使う時間



● 必要なお金



● 様々な職種のメンバーが集まっています

- | | | | |
|------|-----------|----------|--------|
| ・印刷業 | ・行政書士 | ・社会保険労務士 | ・電気工事業 |
| ・飲食業 | ・警備関係 | ・生花販売業 | ・福祉事業 |
| ・会社員 | ・建設業 | ・清掃業 | ・不動産業 |
| ・解体業 | ・公務員 | ・設備工事業 | ・弁護士 |
| ・看板業 | ・サッカースクール | ・葬祭業 | ・保険業 |
| ・議員 | ・司法書士 | ・デザイン業 | など |

見学受付中

年齢制限：20歳～40歳未満
国 籍：問いません
入 会 金：¥ 30,000
年 会 費：¥141,000

少しでも気になることやご質問がございましたら
お気軽にご相談ください！

吹田JC事務局 E-mail : suitajc@suitajc.jp
T E L : 06-6386-1475

吹田JCの 良さ

自分自身の成長に
繋がる体験ができる

大人が
仕事以外の事で
本気で取り組む

仕事の相談が
できる

組織運営が
学べる

社会貢献

行政や関係団体との
協働の手法や
その効果が学べる

今まで関わる事が
なかった業種の人と
一緒に活動できる

一生涯の仲間ができる

幅広い人脈が
できる

向上心溢れる人が多いので
刺激を受け成長できる

経営者以外の方は
お金の使い方を学べる
経営者の方は
お金の尊さを学べる

忍耐強くなる

時間の組み方が
うまくなる

人前に立つことが
緊張しなくなる

吹田JCに 入会したら

人前で自信を持って
話すことが
できるようになった

個人ではできない
地域との繋がりが
できる

美味しいお店を
たくさん知れる

会社や家庭の悩みを
相談できる仲間ができる

飲み会の企画が
そつなくできるようになった

年間スケジュール

※定例会は基本的に月1回、18日前後に開催されます。

1月

- 新年賀会定例会 (吹田JC)
- 京都会議 (日本JC)
- 出陣式 (大阪BL)

新年賀会定例会



理事長が理事長所信表明を行い、明るい豊かな吹田のまち実現に向け、1年間の方向性を示します。

2月

- 定例会 (吹田JC)

京都会議



日本JCのスタートとなる通常総会・正副会頭会議・理事会等の諸会議・各委員会が開催され、新年式典では会頭が所信表明を行い全国のJCに日本JCのその年の方向性を発信する場です。

3月

- 定例会 (吹田JC)
- 総会 (日本JC)
- 香港浩洋青年商會式典 (姉妹JC)

香港 浩洋青年商會式典



姉妹JCである香港 浩洋青年商會の式典に毎年訪問し、交友を深めています。

7月

- 定例会 (吹田JC)
- サマーコンファレンス (日本JC)
- 近畿地区大会 (近畿地区)

サマーコンファレンス

日本JCの運動を広く発信するために、各界を代表する著名な有識者をお招きし、政治・経済・社会など様々なジャンルのセミナーを開催する場です。

8月

- 定例会 (吹田JC)

近畿地区大会

近畿地区にあるJCからメンバーが出向し、近畿地区の歴史・文化・経済などの発展のために毎年開催地を変え開催しています。大会を通じてメンバーはもちろん、その地域の方々にも愛郷心を再認識して頂ける機会を提供することを目的に実施しています。

9月

- OBOG合同定例会 (吹田JC)
- 全国大会 (日本JC)
- 大阪ブロック大会 (大阪BL)

OBOG合同定例会



吹田JCには50年の歴史があり、今まで吹田JCを築き上げてきた諸先輩方との交流を毎年実施しています。

全国大会



日本JCが行う年に1度の最大の事業の1つであり、全国の会員と共にJC運動の更なる意識高揚を図り、各地域の未来を切り開いています。また、全国のJCで40歳になったメンバーの卒業を祝います。

大阪ブロック大会



大阪府内にあるJCからメンバーが出向し、共通の理念とビジョンの下に大阪全体の活性化のために開催します。2019年は吹田の地で大阪ブロック大会吹田大会が開催されました。

その他の活動

姉妹JC 香港 浩洋青年商會



吹田JCの姉妹JCである香港 浩洋青年商會とは年に数回行き来し、交流を深めています。3年に1度、国際交流事業として両国の課題を勉強し、解決に向けて取り組んでいます。2018年には、吹田の中学生と共に香港を訪れ、SDGsに関連したフードロスについて勉強し、交流を図りました。

4月

- 定例会 (吹田JC)
- わんぱく相撲 (吹田JC)

わんぱく相撲



夏に東京・両国国技館で開催される全国大会に向けての予選を開催。児童青少年に対し、相撲を通して相手を思いやる気持ちを学ぶ機会を提供しています。

5月

- 8LOM合同例会 (吹田JC)

8LOM合同例会



大阪北部にある8つのJC (池田、茨木、大阪、吹田、摂津、高槻、豊中、箕面)が集まり、合同の定例会を行います。

6月

- 定例会 (吹田JC)
- ASPAC (JCI)
- GTS (近畿地区)

ASPAC



毎年アジア・太平洋地域のJCメンバーが集い、交流を深めるJCI Asia-Pacific Area Conference (ASPAC・アスパック)。JCの中では世界会議に次ぐ、盛大な大会です。

10月

- 4LOM合同例会 (吹田JC)

4LOM合同例会



北摂近隣4つのJC (吹田・池田・豊中・箕面)の新入会員が中心となって創り上げる伝統の定例会です。

11月

- 定例会 (吹田JC)
- 世界会議 (JCI)
- じゃがいもゴルフコンペ (吹田JC)

世界会議



毎年世界各国で開催地を変えて開催され、JCIにとって最も重要な会議として位置づけられています。会期中は、JCIの組織運営に関する会議や、テーマに基づく講演・セミナー、会員の資質向上を目的とした分科会などが行われます。

12月

- 卒業式 (吹田JC)
- 大納会 (大阪BL)

卒業式



卒業式では40歳を迎えた卒業生を盛大に送り出します。また褒章授与式は、この1年間の活動の証として、会員賞・新人賞・会員拡大賞などの個人賞、委員会賞などの団体賞を表彰します。

大納会



毎年12月に大阪BLの主催で開催され、出向者の慰労や、優秀な事業への褒章の授与が行われます。

じゃがいもゴルフコンペ



毎年開催されているOBOGと現役メンバーとの交流ゴルフコンペ。名前の由来は、芋掘りゴルフが多かったので「JC」を文字って「じゃがいも(J)クラブ(C)」という会が発足されたことにあります。これを機会にゴルフを始めるメンバーも多くいます。現役メンバーの平均は120オーバーです！

家族会



年に1度、メンバーの家族に感謝を伝える催しを実施しています。2017年はPanasonicスタジアム吹田でガンパッダー、2018年は摂津峡でBBQ。日頃JC活動に協力してもらっている家族に対してメンバー全員で感謝を伝えます。

JCサッカー部



毎年全国大会が実施され、吹田JCサッカー部として参加しています。サッカー以外にも野球・テニス・ラグビーなどの同好会があり、全国のJCメンバーと交流を深める機会となっています。

2020年1月14日 新大阪江坂東急REIホテル



2020年度 新年賀会定例会



■ 新年賀会定例会

JCの年度始めに当たる毎年1月に、行政、各種団体、近隣のJCの方々をお迎えして、1年間の活動方針の発表を行います。

当日は、厳粛な雰囲気の中、理事長が就任後初めて、地域の方々に向けて、地域に対する想いや活動についてスピーチを行いました。

吹田JCは、吹田市内を拠点に地域のまちづくりを担う団体として、日頃からまちづくり運動を続けています。この日も、約100名のゲストと共に、こうした活動の更なる連携を深めていく場とすることができました。

■ 第3回わんぱく相撲 吹田場所

わんぱく相撲は小学校4年生から6年生が参加し、全国200地区で予選が開催される小学生対象で最大規模の相撲大会です。予選を勝ち抜いた児童青少年は、東京・両国国技館で開催される全国大会で決勝戦を行います。女子の全国大会も開催されるようになり、多くの参加者が集いました。

吹田場所では木瀬部屋の力士、関西大学相撲部の方をお招きして、子どもたちと触れ合っていました。参加者には、物事に本気で取り組む姿勢、相手を思いやる気持ち、そして相撲が大切にしている礼節などを学んでいただきました。

2019年4月13日 EXPOCITY空の広場



2019年9月23日 万博記念公園お祭り広場



■ 大阪ブロック大会 吹田大会

大阪ブロック大会は、毎年大阪府下29のJCが持ち回りで主管を務める、大阪ブロック協議会最大の運動発信の場です。2019年度は、吹田JCが主管を務め、「Suitable EXPO～塔さん大阪は元気です～」をテーマに実施しました。

JCは日本で1番のSDGs推進団体となるべく活動しており、大阪ブロック大会吹田大会でもSDGsを市民に向けて発信しました。ゲストに関西大学や大阪大学、キャットミュージックカレッジ専門学校、吹田夢☆志団の皆様、矢井田瞳さん等を迎え、多くの市民に参加していただき、盛会のうちに終了しました。

2019年9月8日 ホテル阪急エキスポパーク



■ 創立50周年記念式典

吹田JCは、1970年の創立から、地域の様々な団体と連携し、地域に根差した活動の中長期的に発展させていこうと、5年ごとに周年記念式典を開催しています。

2019年は創立50年目を迎えた節目の年として、約200名の御来賓を迎え、「本質をみつめ、未来を創造する」という55周年に向けた中長期ビジョンを発表しました。中でも、防災、教育などの分野をはじめ、地域の人材育成や活性化に貢献する事業を通じて、一層の連携を深めていくことを発表しました。

■ Web 定例会

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年度は対面式定例会ではなくWeb定例会を実施しました。会員に機会を提供したいという想いがWebでの定例会を実現させ、6月度定例会では市民の皆様にもオンラインで参加していただきました。

吹田青年会議所の会員には、このような問題があるときこそ乗り越える力があると改めて感じさせられた1年でした。

Web定例会だからこそできる講演やグループディスカッション・ワークなど、メンバー間での絆を深める良い機会となりました。

(Web定例会の内容：JCふしぎ発見/今こそ、一致団結！苦境を乗り越えよう！/New Norma!!地球市民が前向きに生きる為に、新しい日常を考えよう/Problem Based teilLeikai～問題解決型定例会～/本年度の残りをどう過ごすか/民間企業による三助の重要性、地域防災と三助について/NATSO-2ナッツゼロツアー)



2020年度
大阪ブロック協議会
国際交流部門にて
最優秀賞受賞



2020年11月9日 吹田市役所内



■ まちづくり事業

「笑顔のまち吹田」モザイクアートプロジェクト2020

入院している子ども達や日々患者様と向き合う医療現場の人たちへ、明るく笑顔になる絵を届けたいという想いで本事業を行いました。市民から応募していただいた絵を繋ぎ合わせ、1つのモザイクアートとして吹田市内の病院に寄贈しました。また、入選作品を選定し吹田市役所での展示も行いました。1作品ずつ絵に込められた想いを受取り、市民との繋がりを感ずることができる事業となりました。



杉本 慎一郎

吹田青年会議所に入会することにより、生まれた場所や育った環境、年齢や業種の違う、仕事をしているだけで

は絶対に出会うことの無い仲間と出会えることができました。

2020年に全国JCサッカー選手権大会を吹田の地で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまいました。しかし、大会を誘致設営する際、全国の青年会議所の仲間が協力してくださり、行政や企業・地域団体と関わることができたことは私にとって一生の財産です。仕事をしているだけでは味わえない体験でした。

青年会議所は地域のために活動してる団体ですが、実は自分の実りある人生の機会を与えてくれる団体です。ただのボランティア団体ではありません。是非入会して、一緒にかけがえのない仲間を作りましょう！



渡辺 裕美子

吹田青年会議所に入会して、様々な人とかわる機会があり、またその中で沢山の仲間を作れたことが良かったと感じています。

日々職場と家庭の往復では、友好関係は狭くなり、付き合い人も同じような環境の人が多く、どうしても視野が狭くなりがちです。青年会議所運動では、様々なバックグラウンドを持ち、違う考え方、感性を持った人たちと、ともに事業を作り上げていきます。大変なことではありますが、その分、仕事や家庭からでは得られない沢山の大きな気づきを得ることができます。

皆さん入会前には仕事と家庭の両立ができるか心配されるかと思います。私も未就学児の子が2人いますが、仲間に支えられながら沢山の機会を与えていただいています。是非、多くの方に青年会議所運動に興味を持っていただき、活動に参加いただけますと幸いです。



坂本 数馬

JCとは人生最期の学舎という言葉聞き、私はその真意を知りたいという、安直な考えのもと入会致しました。

入会后1年が経過した現在、委員長という使命を受けることとなり、今まででなかったことのない務めに悪戦苦闘する毎日ですが、ランニングハイにも似た高揚を感じています。ここでは事業を実施する場合も当会の活動に整合しなければならず、如何に優れた経営者にも沢山の壁が立ちはだかります。学生時代ろくに勉強しなかった私も、人生最期の学舎との響きを今更ながら痛感しています。壁とチャンスが誰にも均等に用意されているのが、吹田JCの特色です。このまちで有名になりたいという野心家の方、あるいは仕事に活かす何かを学びたい方々、その実現の第一歩としてこの学舎の門を叩いていただきたい。



公益社団法人 吹田青年会議所 サポートーズクラブ

吹田JCサポートーズクラブでは、一般の方が参加できる

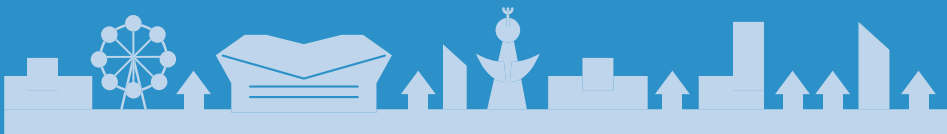
吹田JCが主催・共催するイベントやセミナー、国際交流事業などの情報を配信しています。

どんな活動をしているのか興味がある方は是非ご登録ください。



吹田JC サポートーズクラブ

検索



年会費
無料

年齢制限
満18歳以上



公益社団法人 吹田青年会議所(吹田JC)

〒564-0052

吹田市広芝町10-3 サニーストンホテル内

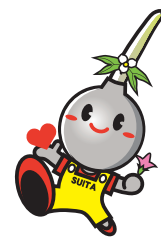
E-mail : suitajc@suitajc.jp

TEL : 06-6386-1475

FAX : 06-6337-1682



ガンバ大阪は
吹田JCの
賛助会員です



吹田市イメージキャラクター
すいたん